

# 社会資本整備審議会 道路分科会

## 第20回近畿地方小委員会

### 議事概要

1. 日 時 平成 29 年 9 月 6 日（水） 10:00～11:30
2. 場 所 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
3. 出席者

#### [委員]

うの 宇野	のぶひろ 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授
うらお 浦尾	たか子 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと 川本	よしみ 義海	福井大学 学術研究院工学系部門 准教授
まきむら 槇村	ひさこ 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 客員教授
むねた 宗田	よしふみ 好史	京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長・ 生命環境学部 教授
やました ◎山下	あつし 淳	関西学院大学法学部 教授 ※敬称略、五十音順 ◎は委員長

#### 4. 議 事

##### (1) 計画段階評価について

宇治木津線 城陽～木津川

##### (2) 議事概要

###### <委員からの主な意見>

###### ■計画段階評価について

- ・ 第1回意見聴取結果、政策目標の設定等、分かりやすく整理されている。
- ・ 上狛城陽線等の生活道路が抜け道として利用され、事故が多いのは問題であり、沿線のコミュニティの方々の安全確保は重要な課題である。
- ・ この地域は過去に大水害があった地域であり、災害に強い道路が求められている。
- ・ コントロールポイントという表現が一般の方には分かりにくい。また、「避けるべき」と「近づけるもの」もあるはずなので表現に工夫して欲しい。
- ・ 浸水想定区域は防災上重要であるので、分かりやすく書いて欲しい。
- ・ 地域振興の支援としては「交流人口の拡大」という観点が重要である。
- ・ 広域的なネットワーク利用という観点も必要であり、もう少し広域的に見ても重要性がわかる様に工夫して欲しい。さらに、別の地域の方々への意見聴取の実施等を試みて欲しい。
- ・ 将来、受益者（利用者）となる20歳代や30歳代など若い年齢層から意見を出来るだけ聞けるように工夫して欲しい。
- ・ 第2回意見聴取の実施及び提示するルート帯案について問題はない。